

天皇賜杯 第77回全日本軟式野球大会

ENEOSトーナメント長崎県大会 実施要項

- 1 主催 長崎県軟式野球連盟
- 2 主管 長崎市軟式野球連盟
- 3 協賛 ナガセケンコー株式会社
- 4 特別協賛 ENEOS株式会社
- 5 会期 令和4年7月30日(土)、31日(日)、8月6日(土)
※悪天候により日程を順延する場合、日程・会場は県連と主管支部が協議の上決定する。
※チームの意向は反映されないため、設定された日程及び会場で出場できないチームは、棄権とする。
- 6 会場 A 長崎市総合運動公園かきどまり野球場
B 長崎県営野球場ビッグNスタジアム
- 7 参加チーム 2022年度に長崎県軟式野球連盟に登録された一般チームで、県連盟15支部代表15チーム及び特別推薦A級2チームの合計17チーム
- 8 出場資格 チーム編成は、監督・主将を含め10名以上20名以内で構成し、スポーツ安全保険等に加入していること。
- 9 適用規則 2022年度公認野球規則、競技者必携に記載の項目及び別に定める特別規則を適用する。
- 10 大会規律 不正出場、その他規律違反については、(公財)全日本軟式野球連盟規程細則により処理する。
- 11 使用球 (公財)全日本軟式野球連盟公認球 ナガセケンコーM号を使用する。
- 12 参加申込 A級チーム及び各支部代表チームは、所定の参加申込書(エクセルデータ)に必要事項を正確に記入し、所属支部を経由して7月16日(土)までに主管支部へ、E-Mailで提出すること。
※選手欄は、監督・主将以下、その他の選手は背番号の若い方から記入すること。
※参加申込書提出後は、選手の追加、変更及び背番号の変更は一切認めない。
- 13 組合せ抽選 組合せ抽選会は、参加申込書提出期限の翌日に主管支部役員により代理抽選を行う。
- 14 参加料 25,000円 大会第一日目の会場本部で試合前に打順表と交換で納入する。
- 15 監督会議 行わない。
- 16 開(閉)会式 開会式は行わない。閉会式は大会最終日の決勝戦終了後に表彰式と兼ねて行う。

- 17 表 彰 優勝チームに賞状と優勝盾を授与し、長崎県代表として全国大会の出場権を与える。
全国大会 令和4年9月16日(金)～21日(水) 佐賀県
- 18 旅費宿泊費 本大会に参加するための旅費・宿泊費は、すべてチーム負担とする。
- 19 そ の 他 (1)出場チームは、必ず背番号(0番から99番まで、監督30番・主将10番・コーチ29番・28番)及び左袖に県名をつけること。(都市名は不可)
(2)木製バット以外は、(公財)全日本軟式野球連盟公認バットであること。
(3)捕手は、危険防止のため(公財)全日本軟式野球連盟公認のヘルメット・マスク・プロテクター・レガースを着用のこと。
(4)打者・走者・次打者及びベースコーチは、競技者必携に記載のヘルメットを着用のこと。
(5)試合に出場する捕手及びブルペン捕手は、ファウルカップを着用すること。
(6)チームの責任は、チーム代表者または責任者において、責任を負うものとする。
(7)大会中の不慮の負傷、疾病については応急措置を施すが、それ以外の責任は負わない。
- 20 試 合 方 法 (1)準決勝戦までは7回戦とし、決勝戦は9回戦とする。
(2)得点差によるコールドゲームは、準決勝までは5回以降7点差、決勝戦は7回以降7点差とする。
(3)準決勝までは5回、決勝戦は7回を完了して降雨等で試合が継続できない場合もコールドゲームを適用する。
(4)降雨等で上記に記載する回が未完了または完了して同点の場合は、再試合とせず特別継続試合とする。特別継続試合でのコールドゲームもある。
(5)大会運営上、準決勝までは回数にかかわらずに試合開始から1時間30分を超えて新しいイニングに入らない。
(6)時間の区切りは、1時間30分に到着した時点で先攻チームが勝っている場合は、その裏の回まで行う。後攻チームが勝っている場合は、その攻撃中の打者が打撃を終了した時点で試合を打ち切り、先攻チームが攻撃中のときはその回の終了までとする。
(7)準決勝戦までは7回を終了、または制限時間を超えて同点の場合は、延長戦を行わずに直ちにタイブレーク方式で決着をつける。
(8)決勝戦は9回を終了して同点の場合は、通常の延長戦を12回まで行い、または試合開始後、3時間を経過した時点で、なお勝敗が決しない場合は次の回よりタイブレーク方式で決着をつける。
- 21 連 絡 先 本大会についての問い合わせ先
長崎市軟式野球連盟 事務局長 木下 研一 090-1974-6707
長崎市軟式野球連盟 理事長 沼田 浩三 090-1167-2967